

酪 農 試

酪農研究通信

第30号 2022年3月



多層詰めサイレージ調製時の追詰め作業



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
農業研究本部 酪農試験場

北海道標津郡中標津町旭ヶ丘7番地
TEL(0153)72-2004 FAX(0153)73-5329

酪農試験場において、令和3年度にとりまとめた研究成果の要約を掲載しました。酪農の生産・普及・行政の現場でご利用下さい。

なお、例年行っております酪農試公開デー、酪農試験場フォーラムは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としましたので申し添えます。

第30号 目 次

令和3年度の研究成果

1. バンカーサイロにおける多層詰めサイレージ調製技術 1
(バンカーサイロ多層詰め技術の道内における実用化)
2. 更新後草地におけるチモシーの維持対策 3
(更新後草地におけるチモシー衰退の要因と影響評価に基づく維持対策)
3. 酪農場データを使ってケトーシス発生を減らそう 5
(牛群検定の乳中ケトン体情報を活用した飼養管理評価手法の開発)
4. 放牧とフリーストールと組み合わせて労働生産性を向上 7
(放牧経営におけるフリーストール飼養方式導入の経営評価)
5. 飼養頭数規模拡大が牛乳生産費に及ぼす影響とTMRセンター加入による
コスト低減効果 9
(自給粗飼料の安定確保が大規模酪農経営の牛乳生産費に与える効果の解明)
6. 新しい牧草の品種(アルファルファ「Karlu」、トールフェスク「Swaj」) 11

令和3年度の研究情報

1. 性選別精液の授精で高受胎率を期待できる牛の共通点 13

詳しい情報や内容に関するお問い合わせは、各担当者にお寄せ下さい。この資料中の成果名は要約版です。お問い合わせ・検索にはカッコ書きした(課題名)をご利用下さい。これまでの研究成果については、インターネットで情報を提供しています。併せてご利用下さい。

◆酪農試験場 (<http://www.agri.hro.or.jp/konsen/konsen1.html>) から「研究成果」を選択

◆農業技術情報広場 (<http://www.hro.or.jp/list/agricultural/center/index.html>) から「研究成果」を選択